受付番号　第 *2026034* 号
承認日：2026 年 10 月 20 日

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等
血液透析患者における嚥下障害の構造的要因分析-背景･身体･栄養学的指標を用いた多角的検討-

2. 研究責任者(当院)
所属：リハビリテーション室
氏名：川上 里奈
共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名
機関名：なし
代表名：なし

3. 分担研究者
なし

4. 研究対象者
2026 年 12 月 1 日～2026 年 12 月 31 日の間に聖隷佐倉市民病院において外来通院している血液透析患者

5. 研究の必要性
日本は世界でも有数の透析大国であり，総患者数は依然として増加している.また，透析患者の高齢化に伴い，透析患者の身体機能・認知機能・栄養状態の悪化が問題視されているが特にサルコペニアやフレイルは，透析患者で有病率が極めて高く，地域在住の 65 歳以上の高齢者では 1～29%の有病率であるのに対し，透析患者では 30.1%にも昇ると報告されている．こうした身体機能低下は，摂食嚥下機能へも影響をおよぼすと推測できる．しかし,透析患者の嚥下障害については体系的な研究は非常に少ない．透析患者における嚥下機能低下は,低栄養や誤嚥性肺炎といった臨床的転帰に関与する可能性があるにもかかわらず,その概念・病態・評価指標は体系的に整理されておらず,臨床現場においても評価や対応が一定していない.
本研究では,血液透析患者に対する嚥下障害の発生に関与する要因について，疾患背景,身体機能,栄養状態の観点から包括的に評価し,それらの相互関係を構造的に明らかにする.

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測
本研究により，血液透析患者における嚥下障害の実態と，背景因子，身体機能および栄養学的指標等との関連が明らかになることが期待される．これにより，嚥下障害の早期発見やリスク評価に有用な知見が得られ，血液透析患者に対する適切な嚥下機能評価および予防的介入の検討につながる可能性がある．さらに，透析医療における摂食嚥下支援の充実と，患者の安全な経口摂取および生活の質の維持・向上に貢献することが期待される．

7. 対象者､関係者等からの問合せ先(当院)
連絡先番号：043-486-1151（代表）
担当者氏名：川上里奈
対 応 時 間：8:30－17:00（平日）

※ご注意
対象者とは、アンケート回答された方です。お問合せは、回答された方と関係者のみで、その他の方へのご対応はできませんので、予めご了承願います。